

3-3. 鹿野川ダム改造に伴う 環境保全措置について

①植物の環境保全の取り組みについて

平成22年度の移植内容

種名	数量	移植先	移植方法の概要	実施年度
シラン	24株	肱川右岸 及び湿性圃場	掘取り後移植	平成22年度

○モニタリング実施状況

肱川右岸



移植後の生育状況(平成22年9月)



開花の状況(平成25年5月)



開花の状況(平成27年5月)

湿性圃場



移植後の生育状況(平成22年9月)



開花の状況(平成25年5月)



開花の状況(平成27年5月)

肱川右岸、湿性圃場に移植した個体ともに開花・結実を確認し、生育状況は良好。

対応方針(案)

- 植物については、5年間良好な生育が確認されたため、モニタリング・維持管理は終了とする。

②鹿野川ダム改造事業における 水質保全の取り組みについて

環境保全措置の実施状況

工事で発生する汚濁水の影響を低減する対策を講じている。



汚濁防止フェンスの設置



汚水の浄化装置

対応方針(案)

- 鹿野川ダム改造事業における水質保全については、これまでの環境保全の取り組みを継続する。